

様式 7

河川基金助成事業

「年間を通じた川の保育園part2」 報告書

助成番号：2021 - 7111 - 008

茨城県つくば市ラ・フェリーチェ保育園
園長 齋藤 隆

2021 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-0000-000	年間を通じた川の保育園 part2			ラ・フェリーチェ保育園		
校長名	齋藤 隆	担当教諭名		齋藤 隆		
過去の助成実績	なし あり [助成番号：2020-7111-002 助成事業名：年間を通じた川の保育園]					
キーワード	自然体験活動、川の上下流、生物の観察、水遊び					
対象児童生徒	高校生（ 年 名） 中学生（ 年 名） 小学生（ 年 名） 保育園（ 年長8名 ）					
対象河川名	小貝川、澗沼	活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画（シラバス）における本助成事業の位置づけ						
<p>テーマ : 自然体験を通じて豊かな人間性を育む</p> <p>ねらい : 自然の偉大さの中で、互いの尊重や協力など関係の構築や感情・感性を育む。</p> <p>評価の観点 : 友達と協力する姿勢・関係性の変容、絵日記や工作の表現からの推察。</p> <p>活動時期 : 6月～8月</p>						
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習（ ）	各教科学習（ ）	学校行事	その他（体験活動）	合計
上記の活動時間数	時間	時間	時間	3時間	35時間	38時間
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援概要	公益財団法人ハーモニセンターに開催場所の提供および騎馬パトロール（引き馬）の指導監督を委託。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体			
安全対策に関する課題						
乗下船場所が前日の降雨による増水により下見時と大きく異なった。当日準備段階の予測より水位が上昇し、催行中に対応しなければならなかった。						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p>活動の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人では困難なことも協力することで解決できることを学び、手を差し伸べる姿が見られた。 興味・関心をもち、普段は消極的な子どもも自ら進んで活動していた。 観察をしたことで、絵の表現がより細かくなり、色合いにも気を配るようになった。 <p>今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通してプログラムを展開するにあたり、開催時期とプログラム内容の精査が必要。 コロナウィルス感染症の予防と、施設利用制限などを含めた開催判断。 						
活動内容と実施時期（主な活動を2つのみ記入）						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動系	川遊び	6月	
			生物調査系	その他	8月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子 P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-008	年間を通じた川の保育園 part2	ラ・フェリーチェ保育園・齋藤 隆

河川教育の目標

幼児期の教育は、教科中心の学校教育と違って、遊びを中心とした生活を通じて、生涯にわたる人格形成の基礎を養うことが基本である。

これらを踏まえて、体験活動の中でも教育効果が高いと考えられる河川教育の目標を以下のように設定した。

- ① 自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
- ② 季節による四季変化に気付く。
- ③ 生命の尊さに気付き、いたわり、大切にすること。
- ④ 感じたことや考えたことを自分なりに表現する。

子どもの変容を捉える視点と方法

絵日記で表現されている、感動や自然の美しさ、不思議さ、四季の変化、生物に対する子どもの気持ちから、好奇心や思考力の変化を捉える。

日ごろ対立もしくは牽制しあう傾向が強い関係性の対象者の場合、活動を通じ協力や気遣う声かけが見られるか等、精神的変化を客観的に捉える。

方法

- 体験活動から二日以内に絵日記を書かせる。
- 子ども一人ひとりに色鉛筆で、体験活動で見つけたもの、知ったもの、感じたことなどを自由に書かせる。
- 園児同士の会話は、自由に行わせ、時間は30分程度。
- 保育士の関与は、最低限(字を教えるなど)とする。
- 活動中、活動後の友人への声かけの内容・口調の変化を観察する。

対象者

思考力の芽生え、運動機能の高まり、目的のある集団行動に配慮して、5歳児8人(男子5人、女子3人)を対象とする。8人とも運動機能に差はあるが健康。また3歳からの読み聞かせやドリル等による指導により、ひらがな、カタカナの読み書きができる。人間関係においては、男子が我を通そうとする傾向が強く、協力や譲り合いが困難。

※例外的に一緒に活動できるEポートと騎馬パトロールについては、幅広く体験してもらうために1歳児から5歳児までの在園児とその保護者までを対象とした。

フィールド

①小貝川

関東平野を北から南へと流れる利根川水系の一級河川。全長111.8kmで、利根川の支流中で第

2位の長さを誇る。関東三大堰の福岡堰、岡堰、豊田堰がある。

②宝篋山

本園からよく見えるつくば市北東部にある標高461mの山。沢沿いの極楽寺コースを通ると大小10以上の滝がある。

③潤沼

那珂川水系潤沼川の下流に位置する関東唯一の汽水湖。水質は良好で湖畔の親沢公園には、キャンプ場と砂浜がある。

フナ、ナマズなどの淡水魚やクロダイ、ハゼ、ボラ、ニシンなど105種の魚類が確認され、ヤマ

トシジミの全国的な産地となっている。

鳥類は、86種が確認されている。鴨や雁などの水鳥、シギやチドリなどの渡り鳥が湿地など

くみられ冬場には猛禽類であるオオワシやオジロワシも見られる時がある。

植物は、水生植物など398種が確認され、2015年にラムサール登録湿地となっている。

絵日記1

活動日 2021年6月5日

活動内容 Eボート、河川騎馬パトロール



絵日記 2

活動日 2021年8月4日-5日

活動内容 水辺の生き物探し・川遊び・魚釣り・食育・宿泊体験・河口観察



結論として…

- 水辺の体験活動を体験した子どもは、河川教育の4つの目標に対して、肯定的な変容が認められた。
- 特に「自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く」については、全ての子どもに明らかな変容が見られた。
- 「感じたことや考えたことを自分なりに表現する」に関して、普段積極的に発言しない子どもが自ら提案するなど行動的になる様子が伺えた。
- 水辺の体験活動は、幼児期においても様々な体験活動の中でも教育効果が高いと考えられる。
- 人間関係など精神的成長に関しては、活動中及び活動直後には成長と捉えて良い変化が確実に見受けられた。

変化が定着した子どももいるが、時間の経過とともに効果が減衰する傾向が強い。定期的・継続的に活動を行うことで成長が定着するものと考えられる。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-008	年間を通じた川の保育園 part2	ラ・フェリーチェ保育園 高橋 晃雄



フィールド：小貝川

日 付 ：6月5日

コメント：Eボートにて流れる川の流れ、協力して一つのことを行う体験を行った。



フィールド：小貝川

日 付 ：6月5日

コメント：水の重さや流れの速さを感じながら、力で対抗するのは難しいことを体感した。



フィールド：宝篋山

日 付 ：7月16日

コメント：水の一滴滴が集まり流れとなる源流域で、水温や透明度などの違いを感じた。雨粒から川に集まるまでの様子を想像し、見ているものと結びつけ、川の始まりを理解できるように説明した。

注) 写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）



フィールド：涸沼

日付：8月4日

コメント：ガサガサを行い、どのような所にどのような生き物が潜んでいるかを学んだ。生息する生物からも涸沼の成り立ちや地理的概要を知ることができた。



フィールド：涸沼

日付：8月4日

コメント：ガサガサで採れた生き物の特徴を見てその生物の生息環境や生態を学んだ。同じ場所に捕食者がいることが分かり、食物連鎖を知ることができた。



フィールド：那珂川河口付近

日付：8月5日

コメント：涸沼川が那珂川と合流し海へ注ぐ所を海門橋より観察した。また橋の下で波が寄せてくるのを間近で見て、海の影響が川に入ってくることを実感した。

注) 写真は5～6枚程度(枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-008	年間を通じた川の保育園 part2	ラ・フェリーチェ保育園 高橋晃雄

主な実施箇所 小貝川（県南総合防災センター付近）、涸沼（親沢公園キャンプ場付近）

親子遠足（E ボート・乗馬体験）



涸沼キャンプ



助成事業の主な実施箇所